

第二三〇回ペン川柳会

令和五年七月二十五日

お題 「笑・笑う」

■ 松谷（零門）  
れいもん

最終回のあの一球で笑顔飛び  
紅さして笑顔で向かうデイスービス

■ 八木（明迷）  
めいめい

漫才の意味わからぬが笑うふり  
妻のドジ笑いこらえて尻が鳴り

■ 塚田（拿々）  
だだ

お笑いがテレビを占拠笑えない  
木曾の酒呑んで騒いで七笑

■ 大野（だし）

認知症笑いが救う夫婦仲  
新予算笑える人がうらめしい

■ 稲宮（井波）  
いなみ

レゴ・タンクいや本物だ笑えない  
あの時ねふとうなずいてふくみ笑い

■ 三春（火酒）  
ウオツカ

笑いじわ色は匂へど散りぬるを  
千円のシルバーパスに泣き笑い

■ 西川（酔雅）  
すいが

八十路爺にやついている呆け笑い  
若者の笑いが読めぬ八十路爺

■ 山縣 (安兵衛)  
やすべえ

色気などセクハラものと笑われる  
嫁貰い笑わん殿下が笑ったと

■ 安藤 (晃二)  
てるつぐ

鬼笑い来年は巴里疫下火  
そもそもをモソモソと読みクラス沸き

■ 浜田 (我々好)  
ウイスキー

笑う顔シワが増えても気にしない  
オフレコをトクダネにして記者嗤う

世話人 塚田 實 (拿々)  
だだ